

昭和49年度漁況海況予報事業結果

1 調査の実施状況

1) 実施機関 沖縄県水産試験場 漁業家

担当者 当真 嗣 誠(総括)

友利 昭之助(海洋・調査)

久住 一成(調査)

川崎 和男(調査)

喜屋武 俊彦(卵稚仔・資源・調査)

金城 武光(調査)

吉川 一男(漁況・調査)

12) 沖合定線調査(1定線) 定線名 久米島北西沖合定線

1) 実施調査船

船名 因南丸 船長名 赤嶺正弘 乗組員数 総員20名

調査船項目

噸数 159.31噸

馬力 400PS

機関の種類 ウスキディーゼル6USD-26-A5

補機 ヤンマー3L DL 48PS (2台)

速力 8ノット

測深機 TS-1型 馬力 2.2KW ワイヤール 1,500m

音響測深機型式 産研SS-16 周波数 28KC 200KC

1) 観測定線

第1図のとうり

1) 調査項目

a) 水温塩分の各層観測 0、10、20、30、50、75、100、150、200、300m層

b) 一般気象海象の観測

c) 産卵調査 ST1~ST6の5点で実施

稚魚ネットの表層水平度(約2ノットで5分間度)

●ネット(口径45cm)150m→0mの鉛直度

d) 魚群生態調査 魚群探知機による調査

e) その他 潮目、DSL、その他特異現象等